

平成21年 9月議会 一般質問

1、誰もが安心して外出できる、まちづくりについて

- ① これからの斑鳩町の道路整備計画について伺う。
- ② 高齢者や障害者が公共施設を安全・安心して利用するには検証、改善の問題があるように思われるが、町の考えを問う。
- ③ 誰もが、徒歩や自転車、車椅子での移動が快適なまちづくりについてどのように考えているのか伺う。

2、斑鳩町のマスコット、パゴちゃんについて

- ① 平常遷都1300年祭をひかえ、パゴちゃんが活躍する場面が増えると考えられるが、どのようにパゴちゃんが活躍するのか伺う。
- ② 今、まちのキャラクターブームだと思うが、パゴちゃんを上手く宣伝すれば、まちの活性化の起爆剤になると思うが、どのようにこれから観光分野などに結び付けられるのかを伺う。



今まで住民の方といろいろな話をさせていただく中で、一番多くお聞きするのが斑鳩の道は道幅が狭く、車で外出するとヒヤリとすることが多いという話です。

そこで、これからの斑鳩町の生活道路整備計画についてお伺いいたします。

(都市建設部長) これからの斑鳩町の生活道路(町道)整備計画についてであります、現在、いかるがパークウェイや都市計画道路法隆寺線といった幹線道路の整備を進めておりますが、生活道路の基本的な整備方針につきましては、まず、この幹線道路との取り付けの整備を進めて行きたいと考えておりまして、すでに供用開始されております、いかるがパークウェイの小吉田モデル区間において、町道の取り付け整備を行なっておりまして、交通安全面や地域住民の利便性などに配慮した整備を幹線道路の整備の進捗

に合わせて進めてきているところでございます。

また、稲葉車瀬区間において現在国の方で工事が進められておりますが、この区間につきましても用地買収が完了している部分の町道整備をパークウェイの進捗に合わせて行なっていく計画であります。

あお、町道の主要な路線や6m計画道路につきましては、地権者の協力が得られる路線について、財政面や緊急性等を考慮し整備を進めてまいりたいと考えております。

今の答えから幹線道路の整備に合わせて生活道路の整備を考えていることや、用地協力得られる路線について整備が進められることいがありました。

では、今の道路計画により道路状況が本当に改善されるのか伺う。

(都市建設部長) 考えるに、幹線道路・生活道路の整備を行なうことによりまして、生活道路への通過交通の侵入などによる、交通安全対策、地域住民の利便性などを図ることや幹線道路などに円滑な移動ができることとなります。

今後引き続き道路整備を進めていくことによりまして、時間は要すると思われませんが、改善されていくと考えております。

町財政の問題などや用地の確保などの課題は理解できますが、住民の生活に大きく係わる問題ですので積極的に整備を進めていただくことを要望いたします。

では、全ての住民が安心して外出できるまちづくりという観点から、町の公共施設において安全、安心して利用できるように整備されているかを検証し、改善の必要がある施設については今後どのように考えているのかを伺う。

(総務部長) 町といたしましても、誰もが安心して快適な生活がおくれるようバリアフリーの視点にたったまちづくりを推進しているところであります。

役場本庁舎、北庁舎、中央公民館、いかるがホール、いきいきの里、いきいきプラザ等の施設につきましては2階以上の施設には、エレベーターを設置しており、また段差部分にはスロープの設置、アプローチには点字ブロックを敷設するなど、館内バリアフリー化を進め、安全に、かつ安心して施設を利用していただいているところであります。

その他の施設の中で、東・西公民館につきましては、建築面積や部屋の配置等を考慮するなかでエレベーターは設置しておりません。

また、西憩の家につきましては、集会室等への入口部分において一部段差がございますが、廊下の幅員の関係上、段差にスロープを設置するのが困難なことから、かわりに手すりを設置し、安全かつ安心して利用していただくよう努めているところであります。

全ての住民の方が、安全かつ安心して公共施設を利用していただけるよう、既存の施

設については、改良できる部分はさらに改良を実施し、今後新設する施設等が出てきた場合は、バリアフリー化がしっかり整備された施設を検討いただくように願います。

それでは、子どもから高齢者までの方々が徒歩や自転車又は車椅子での移動が快適なまちづくりについてどのように考えているのか伺う。

(町長) 質問者のご承知のとおり第3次斑鳩町総合計画では、生活道路の整備といたしまして、幹線道路との連続性に配慮し、住宅内への通過交通の進入を減らし、円滑な車での移動ができるよう、町内幹線道路のネットワークの確立や、災害時の避難路としても活用できる道路整備を行なっていくこと、また通学や通勤、買い物だけでなく散策などにも利用できる歩行者・自動車主体の道路整備や高齢者・車椅子でも安心して通行できるように、歩道の確保や段差の解消といったバリアフリー化などの道路環境の整備に努めてまいりたいと考えておりますので、ご理解の程宜しくお願いいたします。

斑鳩に住んでいてよかった。

また、斑鳩を訪れてよかったと思えるように、皆が快適に過ごせるような、まちづくりをしてください。

それでは、次の質問に移ります。

斑鳩町のマスコット、パゴちゃんについてであります。

平城遷都1300年祭でパゴちゃんが活躍する場面が増えると考えられるが、どのようにパゴちゃんが活躍するのか教えてほしい。

(都市建設部長) 質問者のおっしゃる通り、近年、まちのキャラクターブームということから、雑誌、テレビの取材の申し込みや例えば、平成17年には、アメリカ・ニューヨークにもパゴちゃんが行っており、町の内外を問わずパゴちゃんの活躍の場が広がっている次第でございます。

平城遷都1300年祭においては、せんとくんとともに、より一層観光の復興として、日本各地に向け、情報発信をしてくれるはずですので楽しみにしておいてください。

なるほど、平城遷都1300年祭では、いろいろな催しや大勢の人が集まるところにパゴちゃんが参加することが分かりました。

どんどん日本全国や世界にパゴちゃんが斑鳩をPRしてくれることを楽しみにしております。

それでは、パゴちゃんが斑鳩の観光産業や斑鳩町の活性化の起爆剤になってくれるように、町行政としてパゴちゃんに対する思いを伺う。

(都市建設部長) まず、パゴちゃんグッズについてですが、斑鳩町観光協会において、

現在はパゴちゃんのストラップとシャープペンシルを作成し、法隆寺iセンターや法隆寺駅等で販売しております。

今年度はさらに、パゴちゃんのボールペンと絵葉書を新たに作成する予定です。

このことによって、斑鳩町を訪れる観光客の方にもパゴちゃんにより親しんでいただけるものと期待しております。

今後においては、まちの活性化をおしすすめるためにも、商工祭りや産業フェスティバルをはじめとする多くの人が集うイベントなど、人気があるマスコットのパゴちゃんを活躍してもらい、情報発信してまいりたいと考えております。

パゴちゃんに活躍してもらって、斑鳩のまちを PR して、財政にもプラスになるように町として全面的にバックアップしていただくことを願ひまして私の一般質問を終わります。ご清聴ありがとうございました。